

平成 31 年 1 月 23 日

平成 30 年度 第 3 回 学校運営協議会

<運営協議会委員>

名 前	職 名
松 宮 新 吾	追手門学院大学教授
河原林 昌 樹	弁護士
藤 本 幸 二	門真市立第五中学校長
鈴 木 貴 雄	門真市立脇田小学校長
三 村 泰 久	門真市教育委員会
市 川 恭 子	門真なみはや高校 P T A 会長

欠席 鈴木貴雄、藤本幸二、三村泰久

<事務局>

宮 田 幸四郎	教頭	山 口 周	生徒指導部長
瀬 利 悦 男	事務長	松 村 尚 之	生徒会指導主任
辻 敏 彦	首席・3 学年主任	岡 田 真 美	保健部長
三 井 和 夫	首席	中 嶋 実	総務部長
山 田 浩 二	教務部長	黒 田 いつみ	2 学年主任
山 中 えみこ	進路部長	金 秀 好	1 学年主任

欠席 辻敏彦、黒田いつみ

<開催日時> 平成 31 年 1 月 23 日 15 時～17 時

<内容>

○学校長挨拶

○議事

<審議事項>

- 1 平成 30 年度学校経営計画及び学校評価について
- 2 平成 31 年度学校経営計画について
- 3 学校教育自己診断について
- 4 第 2 回授業アンケートについて
- 5 教育活動に係る保護者からの意見について

<報告事項>

- 1 学年、分掌より報告

<審議事項>

○学校経営計画について

自己評価について

Q：学習指導要領改訂の学校経営への影響はどんなところか？

A：学校経営というより、主体的・対話的な深い学びがより必要となるので、授業が変わる。知識を伝えることにとどまらない、教科の取り組みが変わる。教科横断的な進め方も大切な要素。

Q：「進路や生き方を考える機会がある」について昨年より数値が上がっている。具体的にどのような面でそのような実感があるか？

A：授業では、産業社会と人間など、特別活動では、「先輩にきく」の取り組みなど。科目選択の際に、卒業後の進路をつなげて指導している。

<意見>

- ・次年度の課題として挙げられている、新学習指導要領についての研修の充実を望みたい。
- ・学校に適応できない生徒に対し、学校に来るように指導することについて疑問がある。「逃げてもいい」という選択肢があってもいいのではないか？
- ・（学校教育法）一条校としては、「学校に来る」ことを基本として指導していくことは避けられない面がある。

○学校教育自己診断について

<意見>

- ・肯定値を目安としているが、どちらかというとプラスという回答が多くなる傾向がある。「あてはまる」の数値が高いかどうかに着目することが必要。

<報告事項>

各分掌より今年度の取り組みについて報告